

第5回 G2SD-GPDSSワークショップ

Lessons from Japan's 3/11 Disasters

第5回 G2SD-GPDSS (グローバル・ガバナンスと持続可能な開発-災害科学・安全学国際共同大学院) ワークショップでは、ソーシャル・キャピタルの観点から災害に関する研究をされてきたAldrich氏 (米ノースイースタン大学) を講師としてお迎えし、東日本大震災から得られた教訓について論じます。本ワークショップは、2019年4月より開始する東北大学災害科学・安全学国際共同大学院プログラムのプレセミナーも兼ねております。

講演概要

2011年の東日本大震災で被災した沿岸地域では、襲来した津波高が高い地域ほど死亡率が高くなるわけではなく、地域ごとに違いが見られます。また、復興事業の進み具合も地域ごとに違いが見られます。本講演では、定性的および定量的なデータを用いて、これらの原因を考察するとともに、今後の防災対策に向けた提言を行います。(講演は英語です。)

講師 **Prof. Daniel P. Aldrich**

Photo by Greg Sampson

Professor and Director

Department of Political Science, Northeastern University

専門は、政策科学。米ハーバード大学よりPh.Dを取得後、2015年より現職。Fulbright Specialist Award、APSA Public Policy Section Best Paper Award 2012、Mellon Grand Challenge Exploratory Award、Akiyama Award、Harvard Program on US-Japan Relationsなど受賞多数。

- 日時 2019年3月19日(火) 16:30~18:00
場所 東北大学川内北キャンパス マルチメディア棟 6階大ホール
仙台市青葉区川内4-1 (地下鉄東西線「川内駅」下車 徒歩1分)
主催 東北大学大学院 国際文化研究科
共催 東北大学災害科学・安全学国際共同大学院プログラム
参加費 無料
定員 30名 (定員に達し次第、申込みを締め切らせていただきます。)
お申込み 下記URLまたはQRコードよりお申し込みください。
<http://www.intcul.tohoku.ac.jp/g2sd/jp/workshop/>



(お問合せ)

国際環境資源政策論講座 青木俊明、大窪和明 (g2sd@intergreen.jp)

